



発信年月日：令和2年8月13日

所属部課	課長・香月泰男美術館長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-43-2500 FAX 0837-43-2577
経済観光部 観光政策課	岡田 年生	香月泰男美術館 丸尾 いと		
件名	シベリヤから帰った“絵具箱”の特別展示			

画家・香月泰男が従軍・抑留中に手放さず持ち帰った“絵具箱”を特別展示します。

本件の周知にご協力くださいますよう、お願いいたします。

- 内容** 戦後75年を迎え、引揚港仙崎を有する長門市では、引揚げの記憶を風化させることなく後世に伝える企画展がルネッサながとやながと歴史民俗資料室で開催されます。当展示はこれらの企画展と連携して、先の大戦における“引揚げ”や“抑留”についての歴史を考える取り組みです。
- 会期** I期：令和2年8月15日(土)～9月6日(月)
II期：令和2年10月1日(木)～11月15日(日)
※I期・II期とも同じ内容
開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日 毎週火曜日、9月2日(水)～5日(土)、11月4日(水)
※11月3日(火)は開館
- 会場** 香月泰男美術館(長門市三隅中226)
- 観覧料** 一般500円(400円)、小中高校生200円(150円)、未就学児無料
※()内は20名以上の団体料金です。
※長門市内在住者は、住所の分かるもの(運転免許証など)を受付で提示すると、無料で観覧できます。
※「香月泰男の表現一石と水一」(8月31日まで)、
「香月泰男の表現一人一」(9月6日～12月6日)のいずれかとあわせての観覧です。
- その他**
 - ・ルネッサながと企画展
「終戦75周年～忘れてはいけない記憶～「引揚港・仙崎」
(8月15日(土)～9月6日(日))
 - ・ながと歴史民俗資料室企画展
「75年前の仙崎」～引揚って何?～忘れてはいけない記憶
(10月1日(木)～11月15日(日))※内容については各館にお問い合わせください。

絵具箱の概要

1927（昭和2）年、香月泰男が16歳の時に母親から買ってもらい手に入れた絵具箱。

1943（昭和18）年、山口西部第四部隊に入隊する時、香月は絵の具箱を持って家を出た。

満洲（現 中国東北部）駐屯時や、シベリヤ抑留中も持ち歩いたが、抑留中は何度か取り上げられた。しかし、収容先のロシア兵から頼まれた絵を描くことで絵具箱を取り戻し、1947（昭和22）年5月、日本へ復員した。

絵具箱の蓋裏には、抑留中に構想した画題12文字が描きこまれている。また、シベリヤ・シリーズの「絵具箱」1972年作は、ロシアのナホトカで日本への引揚船を待つ数日間、この絵具箱を枕にして寝る香月自身がモチーフとなっている。

絵具箱の蓋裏に描かれた12文字

葬・月・憩・薬・飛・風

道・鋸・朝・陽・伐・雨

